



商標委員会 (委員数 53名/担当：佐野副理事長)

◆ 活動方針：

- 国内外の商標制度に関し意見発信、政策提言などを実施しています。
 - 産構審 商標制度小委員会、商標審査基準WG
 - 特許庁主催 各種調査研究(AIPPI等)、審判実務者検討会
 - パブコメ(2019年度：中国、ブラジル)
 - WIPOマドプロ作業部会、TM 5 会議派遣
- 5つのワーキングに分かれ以下の調査研究テーマに取り組んでいます。

WG	調査研究テーマ
1	防護標章制度の活用に関する調査研究
2	中東・アフリカ地域における商標実務の調査・研究
3	各国の識別力の審査傾向およびその対応に関する調査研究
4	商標の出願戦略に関する調査・研究
5	企業のブランド実務・運用に関する調査・研究





商標委員会 WG1 (委員数15名)

- ◆ テーマ名：防護標章制度の活用に関する調査研究
- ◆ 狙い：役務・サービスの枠を超えて周知・著名商標の保護を目的とする防護標章を保有することのメリット，デメリットを分析することによって、制度の活用方法を研究し、会員企業の商標実務に資する。
- ◆ 内容の概略：防護標章制度（他国における防護標章に該当する制度を含む）の調査及び防護標章にまつわる裁判例（不競法含む）等の分析を通じ制度の活用方法、制度に対する要望等を考察する。
- ◆ アウトプット&スケジュール：知財管理誌の投稿
(2020年5月入稿予定)





商標委員会 WG2 (委員数 7名)

- ◆ テーマ名：中東・アフリカ地域における商標実務の調査・研究
- ◆ 狙い：市場のグローバル化に対応した商標戦略を強化するため、会員企業において比較的実務経験が少ないと思われる地域における商標制度や、実務の現状や課題、及び対応策など、企業実務者に有益な情報を収集・整理し、会員企業に提供する。
- ◆ 内容の概略：中東及びアフリカ地域における商標制度を紹介したうえで、各地域特有の問題を抽出・分析し、対応策などを提示する。
- ◆ アウトプット&スケジュール：知財管理誌への論説の投稿
(2020年5月入稿予定)





商標委員会 WG3 (委員数 9名)

- ◆ テーマ名：各国の識別力の審査傾向およびその対応に関する調査研究
- ◆ 狙い：各国の識別力の審査傾向と識別力が問題とされた場合の具体的な対応を研究することで、会員企業の実務ノウハウの拡充・充実化を図る
- ◆ 内容の概略：
 - 1：各国の審査基準における識別力に関する制度の確認
 - 2：委員企業へのアンケートに基づく、各国の識別力審査に関する調査報告
 - 3：委員企業へのヒアリングに基づく、識別力が問題視された標章に対する、調査・出願・OA段階における対応と考え方の紹介と考察
- ◆ アウトプット&スケジュール：知財管理誌への論説の投稿





商標委員会 WG4 (委員数 7名)

- ◆ テーマ名：商標の出願戦略に関する調査・研究
- ◆ 狙い：商標担当部門と事業部門が連携して商標出願を効率的・効果的・経済的に進めるうえで、考慮すべきポイントを検討し、会員企業における出願実務に役立てる。
- ◆ 内容の概略：商標担当部門が出願に先立って確認すべき項目は何か、それらの項目が商標出願の要否やその出願方針にどのように影響を与えるのかに関して、商標委員会内でアンケート調査を実施・整理した上で、より効率的な商標出願が行えるような手法を検討する。
- ◆ アウトプット&スケジュール：知財管理誌に出稿予定
(2019年度内目途)





商標委員会 WG5 (委員数 14名)

◆ テーマ名：本年度の新規テーマ案（2件）

- ①「B to Bビジネスの技術ブランドのマーケティング手法」
- ②「ブランドに関する社内研修と意識向上のための手法」

◆ 狙い：

- ①開発や営業部門に対して顧客に訴求する技術名称をブランド化するための手法を紹介。それらを事業活動に役立ててもらうことで、企業価値の向上につなげる。
- ②ブランド施策を担当している各部門に対して、商標部門として広く意見具申をする際の適切な方法やツールを検討し、ブランド施策に貢献する。

◆ 内容の概略：ブランド施策に対して商標部門がいかに関わり、いかに提言をすることができるか、そのために必要な知見は何かを検討する

◆ アウトプット&スケジュール：東西部会等における発表形式で検討（詳細は未定）

